

あづみ野

第117号


平成17年10月17日発行

まつかわ議会だより



練習成果を発表する吹奏楽部（中学校松葉祭）

主な内容

9月定例会・臨時会・陳情	2・3
平成16年度決算	4・5
村政をただす  9名が一般質問	6~12
子ども議会	12
一部事務組合報告・松川神社	13
あれはどうなっているだい!?	14

〜日本アルプス

朝日に映えて

安曇や錦の

絵に明ける



今年はやまゆき祭から80周年です

平成16年度の決算を認定

平成17年度補正予算

県事業の「細野の国道信号機新設」関係費を議決

平成17年第3回定例会は、9月7日、21日までの会期でした。

議案などは、平成16年度各会計決算関係〔4頁参照〕と今年度の補正予算・条例改正・報告の35件で、決算関係は、荻久保繁代表監査委員の審査報告と意見書提出がされ、議会では決算特別委員会を設置し、各常任委員会でそれぞれ審査して、行政に対し19項目の意見を付けて〔4頁参照〕認定しました。

条例関係は、改正が3件・廃止が1件で、穂高広域施設組合規約の一部改正では、村の財政及び将来を考える立場からの反対・賛成討論があるなど慎重に審議し、全体の35の案件について、いずれも議決・承認しました。

陳情〔3頁参照〕は、4陳情を採択し、関係機関に意見書を提出しました。3月から継続している1陳情は、継続審査としました。

一般質問〔6頁12頁参照〕で9名の議員が村政をただしました。上緑町工業団地関係の質問に答えるため、土地開発公社事務局長が答弁者として2日間出席しました。

commons 支援金 1186万円など

平成17年度一般会計に

2252万円追加補正

通交付税の決定で、25

96万円減額（総額14億

1321万円で昨年より

2729万円減）となり、

増額では、村税見込み1

111万円・commons支

援金1186万円（内容

は安曇節80周年150万

円・馬羅尾環境整備など

393万円・花咲村事業

340万円・信濃松川駅

前整備費303万円）村

債（村の借金）960万

円・赤線など公共物売払

収入730万円・衆議院

選挙など602万円・寄

9月定例会

一般質問風景



この補正で、総額は歳入歳出それぞれ36億35

歳入の主なものは、普

35万円となります

普

付金280万円などです。歳出の主なもの、村道改良など851万円

(細野の国道信号機新設の周辺道路整備など)・衆議院選挙など604万円・多目的交流施設(現名称は多目的文化施設)概要設計を210万円で、ワークシヨップを実施してきた内田教授に委託・

条例改正関係11件

主なものとその理由

松川村健康広場設置条例の廃止 当初の目的は達成した。2年ほど利用はないので廃止し、トイレ・フェンスなどの処理と今後の利用は、松香荘跡地とあわせて検討する。村営住宅の人居公募に「松川村ホームページ」でも行うことを加える。

日本下水道事業団と締結しました。期間は平成20年3月31日まで契約金額は10億5000万円です。

県の町村総合事務組合の組織町村が、合併により平成18年3月30日まで

に脱退することを認める議決で、来年度の長野県町村数は21減の63となる。

池田町明科町松川村葬祭センター施設組合は、明科町が合併で脱退(9月30日)となり、今後は池田町松川村で運営する改正。

穂高広域施設組合規約の一部改正は、組織内の5町村が合併し「市」となるためと、組合議会の議員数を、安曇野市8名、松川村・池田町・生坂村各1名の計11名に(松川村は現在2名で、今年度は今ままでどおり)削減する改正で、反対討論を宮崎弘議員が、議員数は組織自治体が均等割1名と人口割を配置するように、

陳情

【採択】

私立高校に対する大幅公費助成を願う陳情書

住民基本台帳の原則非公開を求める意見書の採択を求める陳情書

地方財政の充実・強化を求める意見書の採択を求める陳情書

拙速に結論を出さずに地域住民合意による高等学校改革を進めることを求める陳情書

【継続審査】

「社会保障制度の抜本改革を求める意見書」の採択についての陳情

冒頭の村長あいさし(要旨)

村内の公共施設の14カ所を調査し、9カ所に

アスベスト材の疑いがある。困り込み工事や空気中濃度調査をして万全を図る。

多目的文化施設は、図書館・ホール・公民館事務所を一つにまとめた施設にとのワークシヨップの報告があった。

自主防災組織ができ

た4地区と地区協力の計6地区を中心として、防災訓練をした。有事に備えての訓練を今後も実施していく。

安曇節80周年記念事業で安曇節のCDができ、ふるさと祭りで踊り大会・歌詞の表彰なども盛大にできた。今後には、

安曇節講話・戦後60年記念で上田市の無言館館長の講演会・まつかわ秋祭りなどを計画。

上緑町工業団地に「㈱荻窪金型製作所」進出が決定した。小学校大規模改造事業は、北・中校舎と昇降口の屋根工事を実施中で10月中旬に完成する。

など、全般にわたる村政についての冒頭あいさつがありました。

第1回臨時会

農業委員会委員に4氏を議会推薦

7月12日の第1回臨時会で、農業委員会委員に4氏を推薦しました。今後の活躍を期待します。

(敬称略)

- 矢花千束(59 緑町)2期
- 丸山岩和(63 北部)1期
- 西山重廣(58 細野)2期
- 平林芳子(50 東部)2期

「安定的財政運営に心がけ、経費の縮減を」

村の平成16年度各会計決算については、特別委員会を設置し、3分科会に分かれて審査しました。一般会計は2582万円の黒字決算となりました。この一般会計と6特別会計・水道事業会計の決算総額は、約71億円になります。

決算審査は、予算が適正に執行されたかどうかを審査するもので、むらづくりの効果や経済効果の評価も行います。

決算特別委員会では、5ページのように村への意見をまとめ、各会計決算を本会議で全員一致で承認しました。

**平成16年度
決算を認定**

**各会計の
歳出額**

一般会計 43億1892万円

国民健康保険 7億3772万円

老人保健 8億5056万円

同和対策住宅改修資金貸付 101万円

公園墓地造成事業 1610万円

地域特別賃貸住宅 625万円

特定環境保全公共下水道 8億8727万円

水道事業 3億278万円

財政力指数 0.352

標準の行政経費に対し、村税の収入能力がどのくらいあるかを見る指標。
「1」以上になると、地方交付税はなくなる。

起債制限比率 9.3%

一般財源のうち、借入金の返済に充てる額の割合。
20%を超えると起債(借入)が制限される。

経常収支比率 76.9%

経常的な一般財源(村税・地方交付税などの収入)のうち、人件費・扶助費(福祉関係など)・借入金返済などの経常的な支出に使われる額の割合

基金の額 22億716万円

別に下水道特別会計=6億9847万円がある。

借入金額 48億7131万円

別に下水道特別会計=52億9527万円と水道事業会計=18億6716万円がある。

決算特別委員会

決算への議会意見

共通事項

すべての負担金・補助金・交付金の見直しを厳正かつ効果的に行い、経費の縮減に努められたい。
 カラス・ムクドリ等がたいへん増えて、農業・環境被害が発生している。早急に対策を講じられたい。
 燃料・電気等の節減のため、いろいろな熱源により発電を行いその排熱を冷暖房等に利用するシステム（ソージェネレーションシステム）と新エネルギーの開発・利用に積極的に取り組まれたい。

総務関係

池田地区交通安全協会への補助金について、前年度も検討するよう指摘しているが改善が図られていない。再検討されたい。
 各区での行事等が増加するなか、小規模な区では全てに負担が大きい。自立の村づくりにあわせ、行事等の協力・協働を検討されたい。
 通学路に関係する防犯灯を調査し、設置について検討されたい。

福祉環境関係

保育園の夏の保育に「自由登園」という期間があるが、特別な呼称は誤解を招くのでやめられたい。
 ごみの分別について毎年説明会を開催し、徹底を図られたい。
 不用電池の回収箱を公民館等に置き、休日にも利用できるようにされたい。
 医療費が増加傾向である。一層保健予防事業に努力されたい。

教育文化関係

民俗資料収蔵庫は、耐震診断の結果に基づいて早急に方針を決定されたい。
 「安曇節資料展示」の、展示換え・年表展示などが大変遅れている。早急に進められたい。
 有害自動販売機撤去の対策では、より踏み込んだ対応をしている。さらに努力されたい。

教育文化関係

ちひろ美術館との対話・交流を定期に行い、相互の理解と認識を深め、ともに発展・向上に努められたい。
 農業委員会報の役割は重要である。予算通りの発行をされたい。
 23号台風災害の対応・復旧事業について、迅速・適確な措置は評価する。ただし、今後は災害における村単復旧事業の村民負担軽減を考慮されたい。

隣組未加入者の解消に努め、高齢者世帯の自治組合長などの役付きについては配慮し、指導をされたい。
 各種印刷物を工夫し、自ら作成していることは経費削減から評価できる。さらに努力されたい。
 村税の過年度分徴収率が低い。徴収率の向上のために努力と工夫をされたい。

一般質問



村政もただす

～9名の議員が、農政・防災・福祉・子育て・自立の村づくりなど行政の取り組みへの提言をまじえた質問をしました。～

早急に高速情報網整備の行動計画を

体制をつくり対応する

白澤 富貴子議員

村内の「高速情報網」整備

問 現代社会においては、高速情報網（ADSL）の整備は欠かすことができない状況である。松川村第5次総合計画にも「地域情報化計画」とあるが、進めている現状は、

答 具体化していない。村内のADSL利用の実態は、時間がかかるなどの問題はあり、ケーブルテレビも入っていないため整備が遅れている。

問 松川村は情報の電波の谷間で、携帯電話の通じないところも多く、NTTプロードバンドの利用できない地域は、板取・川西・西原・神戸・中部などと聞かれます。

答 NTTでは利用できる範囲を、池田町の収容局から3kmくらいとされており、利用できない地域もある。

問 村からの情報も村民は公平に受けられないが、村民から要望はないか。

答 1件あった。独居老人の安否確認など福祉面での活用や災害時の情報伝達などで、北アルプス広域連合での整備はできないか。

問 光ケーブルとかADSLなど方法はいろいろあるが工場誘致や農産物紹介・ホームページなどに高速情報網の早急な整備が必要である。

答 具体的要望はないが必要である。検討する。

問 すずむし荘の横にあるNTTの中継点を局に整備すれば全村が利用できるかと聞く。光ケーブルではないでいる広域となげかなど村としての

行動計画が早急に必要。

答 皆の協力で体制を組織し、早急に対応できるようにする。

多目的文化施設の建設

問 ワークショップの成果や反省は。

答 村民が皆で創る観点で施設の建設・管理運営・文化活動の育成の目的で実施した。広く村民の声を聞くことができた。

問 ワークショップに参加しなかった村民意見の集約は。

答 協働の精神と村民参加が目的。今後、建設検討委員会などの意見を参考にする。

問 意見が多く、「帯に短し、タスキに長し」のような中途半端な施設になる恐れはないか。村としての判断も必要となる。

答 村民の意見は十分に聞いた。7億円の積立ができ、当初に10億円の建設費を示してある。ワークショップの答申を最大限に生かした施設を建設したい。



高速情報網整備のポイントとなる中継点（すずむし荘横）



区での自主防災づくりに行政の助言と協力を
説明や助言をしていく

榛葉 良子議員

自主防災組織づくり

問 昨年の台風23号の教訓を生かしての自主防災組織づくりを、区長会でどう話しているか。

答 現在4区立上がっている。18年度に細野・板取・三軒家での立上げを準備中。17区全部を立上

問 区長にマニュアルを渡すだけでは無責任。職員を区に派遣し、区の状態を考えて立上げに助言してほしい。

答 説明には努力する。職員の派遣は考えていないが、助言はしていく。

問 消防団との連携は。

答 地域防災計画で地元消防団と連携することになっているから幹部会で話す。

問 自主防災組織での防災責任者の補償は。

答 公務災害の補償対象後片付けは駄目だが、訓練中のけがは村が加入している共済の対象。

問 自治会未加入者の対応をどうするか。

答 災害は「自分たちのことは自分たちで守る」のが原則であり、区で何とか助け合ってもらいたい。

問 区の役員に多くの負担をかけないでほしい。弱者などを、個人情報保護の中でどう把握できるか。

答 自主防災組織を立上げた区では災害時限定で本人の了解を得て世帯ご

との台帳を作り、災害時の弱者対応をしている。

農業政策

問 前の答弁で村長は「営農支援センター長を村長がするのはいかがなものか」と言ったが、その真意は。

答 村長が責任は取るが、専門部会の人たちが動きやすいようにするという意。

問 支援センター長は、責務の役割と立場から村長がすべき。

答 うかがっておく。

問 観光と農業に活かさないで、ちひろ美術館の客を10年もそのままが

周辺開発を含め進展はないか。

答 村づくり21委員会の報告を待っている。

問 政府は来年度予算で都市と農村交流に補助金を出すと云っている。全村一公園として観光農業の推進を。

答 良い考えだから検討していく。村にない道路の「サイクリング道路」も造りたいと考えている。

問 これからの観光は滞在型を考え、少子高齢化の空き家を利用した民宿などを考えないか。

答 空家が増えないように滞在型の観光を考えることは必要だ。観光協会と相談し検討する。



有事に備えて訓練する自主防災組織 (北細野区)

救命効果の高い^注AED 配備を

小中学校には教育委員会の判断により対応する

佐藤 節子議員

工事をする。飛散の可能性は少ないが防止対策を万全にする。

問 アスベストは髪の毛の5000分の1と細かく、目に見えなくて怖い。その使用施設は2010年頃から改修、解体年代となる。電気製品にも使っているアスベストに対して、連携した対策は。

答 国・県の指示があれば、村に合わせた対応を考えたい。

問 県は健康被害の相談窓口で対策をしているが、村の対応はどうするか。

答 相談などはないが、環境福祉課を窓口とする。

AEDの配備など村の救命・救急活動の強化

問 119番通報後、救急車の到着までの時間は、全国では平均6分だが村は何分か。

答 平均5分42秒で到着。AEDは救命効果が高い。村にはあるか。

注 AED…自動体外式除細動器。心臓にショックを与え動かす機械。

下条村の「自立の村づくり」をどう思うか 良いところは取り入れる

自立の村づくり戦略

問 自立のための将来ビジョンは大変良くできているが、歳出削減の2億3000万円は、実現可能か。

答 可能だと思う。村民にかなりの負担をかけることを示すシミュレーションか。

答 負担も出てくる。問 シミュレーションでは18年度から10年間毎年

3億円ずつ不足となっている。協働の精神でやっていかなくては無理で、村民の理解を得ないといけない。

答 村民は理解してくれ、と信じている。

問 まちづくり交付金事業は、交付率40%で道路整備と多目的文化施設建設に9億3400万円である。事業認可になれば、歳出削減になると思うが、採択になれば1億円

宮崎 弘議員

ほど楽になる。しかし他に補助率の下がるものもある可能性があるが、一概に良いとは言えない。

問 村職員に対し、村民参加といっても協力できない」という人もいる。どう伝えるか。

答 大変残念である。再度職員には意識改革を促す。

問 気のゆるみか。正してほしい。自立の下条村を視察し、15年前に人口が減少し、対策として低家賃の若者定住促進住宅を建設・中学3年生までの医療費無料化などで若者人口も増えた。職員の削減に着手し59人を37人にした。現在の財政状況は非常に良い。これらの取組みをどう思うか。

答 私も子どもの頃から100円を110円にすることなど考え、私のほ

うがきつとうまい。医療費無料化は、任期中に絶対中学3年生まで行う。職員は定数95人を今86人でこれから80人とする。他村の良い所は取入れたい。

問 村の中山間地の水路事業の対応は。

答 県営事業は県に要請し県と話し合う。

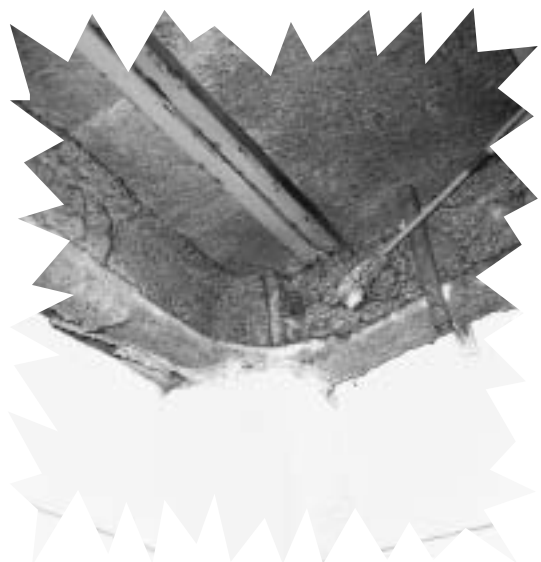
農業危機への対処
問 生活苦から農地を売る人がある。工業団地予定地内の農地の代替地としてあつせんできないか。

答 あつせんしていく。
問 借り手の無い荒廃農地化防止に「農地保全条例」を制定し、村援助をしないか。

答 検討したい。
問 日本の農業を壊す輸入農産物への認識は。



協働の力で咲かせている花壇（ちひろ公園）



アスベスト使用の疑いがあり、囲い込み工
事予定の社会就労センター車庫

答 設置してないが広域の救急車には配備してある。

問 消火器のように配備しないか。小中学校などにも計画し、設置すると同時に使用講習会をしてほしい。

答 現在は広域職員が講習を受けているところで、一般向けの講習会も器具もない状況。学校には教育委員会判断すれば対応する。

問 村内には携帯電話の通話不能地がある。携帯からの通報に障害がある。対策は。

上緑町工業団地への期待と要望

問 近隣住民への説明はどうするか。

答 会社は呼ばず、村が責任を持って説明する。誘致には公害のない会社を前提としており、迷惑をかける会社の誘致はない。

問 雇用は村民優先にできないか。

答 そのように進めている。行政の窓口はどこか。答 企業誘地については経済課が窓口。

子ども議会の感想は 緊張した

井川 昶子議員

子どもを大切に
する村づくり

問 初めての子ども議会
で村長・教育長・子ども
たちの感想、先生の評価は
答 緊張した。調査して
の要望でありできるもの
はやる。意思表示権を意
識した良い機会。子ども
たちは、事前活動が大変

だったが、真剣に聞いて
もらって満足できた。わ
かりづらい答弁があつ
た。先生は「取入れると
ころはぜひ取入れてほし
い」など。

問 村が、既に対応して
いても子どもに伝わって
ない。早く伝えることに
効果があり、村を知り思
う心を育むと思うが。

答 対応が若干遅かつた
ので早急に伝える。
問 年寄りといふれあう学
校づくり支援事業は県か
ら推薦を受け70万円交付
を受けた。この取組みを
どう整備するか。高齢者
が何人訪れ交流をしたか。

答 小学校多目的教室を
交流スペースとし整備を
図ってきた。昨年6月か
ら8回交流し、延べ75
0名。
問 更に開かれた学校つ
くりでこの事業を生かし
て取組まないか。

答 多目的教室を活用し
開放していきたい。

介護保険制度改悪にと
もなう問題

問 改悪は国の財政支出



「子ども議会」で調査を元に質問
(6年は組児童)

を抑制するものであり、
施設利用者負担増は利用
家族の理解が得られない。
村の対象者数は。

答 特養など77名、シヨ
ートステイが約30、40名

問 減免制度の説明は。

答 ケアマネージャーか
ら個々にしている。

徳高広域ゴミ焼却施設及
び最終処分場の問題

問 焼却施設は平成21年
度に建替えとし建設検討
委が立上げられているが、
構成と会議の議題は。

答 13人構成で3回開催
問題を検討中。

問 建設予定地・施設規
模・建設費の見直しは。

答 現在地に隣接を考え、

建設費は不明。1トンの処
理に5000万円位施設
費がかかると思われる。

問 建設費を低くするこ
とが大事。広域でのゴミ
減量の目標数値は。

答 組合長は現施設より
大きいものは造る考えは
ないと表明。

問 事業系ゴミの問題を
話合っているか。

答 対策部会で検討中。
問 当広域は事業系ゴミ
が多い。この減量が大切
実態の把握は。

答 していない。

問 最終処分場の県の計
画と広域の検討内容は。

答 自前の処分場を持つ
か、県の処理施設が検討
できるか見極めながら考
えていくとしている。

区への職員の派遣などの考えは

要望があれば配置する

矢口 八朗議員

自立の村づくりの進め方

問 自立の村づくり策定委員会の他に計画は。

答 策定委員会の答申により進める。

問 他町村でも検討している、区への職員の派遣とか補助金を区へ出す考えはあるか。

答 職員は区の要望があれば配置する。除雪機の配備などできるだけ助成する。

問 村民の意識改革のためには、まず職員が奉仕の精神を持ち意識改革することが大切と思うが。

答 職員なりに一生懸命取り組んでいる。民間への職員派遣を早めに取り組みたい。

各種委員会のあり方

問 待望していた工場が誘致されたが、工場誘致審議会の位置づけは。

答 誘致活動のための会ではなく、村の指定工場

として認めるか審議する委員会である。

問 「村づくり計画策定委員会」と「21村づくり委員会」との整合性は。

答 「21村づくり委員会」は産業振興を諮問する委員会であり、村づくり計画策定委員会「は自立の村づくりのための検討委員会であり性格が違う。

問 役目が終了した委員会は廃止すべきだが。

答 自立の村づくり策定委員会では検討している。

問 自治会未加入者対策は。

答 転入届をした際加入を強く要請していく。

問 大災害が起きた時の村の対応は。

答 地域防災計画の中で整備できており、人命を最優先し対応する。

多目的文化施設の今後

問 ワークショップの中

で現公民館、図書室についての検討はしているか。旧施設の利用を先にきめるべきでは。

答 提案はあるが、結論はない。ワークショップの意見を重視する。

問 今後はどうすすめるか。

答 多目的文化施設等検討委員会で検討し、利用者の意見を聞きながら概要設計に入る。

問 維持管理費見込みは。

答 地下水を利用した冷暖房の提案もあり、できるだけ節約していく。

ワークショップ風景(昨年12月 第1回)

問 北細野駅西国道の信号機設置について西側旧道の扱いは。

答 現状のまま。

問 旧道は使用せず672号線の改修を同時にしたらどうか。

答 区へは、車の流れで対応すると説明してある。

問 各広域組合などの議員定数への考え方は。

答 構成町村の規模により均等割りがあつても良い場合もあると思うが、各々の広域組合の考え方で決定されるので、その考え方を尊重する。

環境保全には村独自の基準を設けるべき

十二分に検討する

甲斐澤 明議員

決算特別委員会の意見

問 平成15年度の決算特別委員会の意見への対応は。

答 まず補助金の削減は努力しているが「自立の村づくり策定委員会」の答申により対処する。他の個別意見についてはそれぞれ適正対応をしてい

る。補助金は終期を設定し、効果・達成度など再検討すべき。「策定委員会」には一定の削減基準を示しているのか。

問 「将来ビジョン」で示した負担金・交付金・補助金合わせて1年で3000万円の削減を目安にお願いしている。

問 思い切った英断で削減してほしい。

答 良い提言だ。しっかりと取り組む。

上緑町工業団地

問 「上緑町工業団地」内全体(道路・工場・緑地帯)の配置は。

答 今交渉中の大きな工場がくれば全部埋まるが、そうでない場合の配置は、全体を見据えての道路整備など、オーダーメイド方式でも残地が無いようにする。

問 環境保全は重要課題だが、騒音・臭気・井戸の取水量など村独自の基準は。

答 まだ作っていない。今はどういう法令を

問

答

問

答

問

答

問

答

問

答

問

答

問

答

問

答

問

答

問

答

問

答

問

答

問

答

問

答

問

村の伝統文化をどう継承するか 休日は地域で子どもを育てる方針

倉科 和議員

上緑町工業団地の 環境保全と未来

問 環境保全の理念とは、
答 住民が健康で安全かつ快適な生活を営むことのできる生活環境を保全すること。

問 小規模工場が増えれば、大気汚染の可能性がある。どう対処するか。

答 住民が困らない規制を考えていく。
問 工場関係排水は、検査後に排水処理すると思うが。
答 一般排水は下水道処理で、多量の工場排水は処理して検査後に高瀬川に放流。工場排水は法令にそった検査をする。
問 騒音の対策は。
答 進出企業により異なるが、音源を密閉する処置を講じてもらう。周辺の住民の意見も聞いていく。
問 周辺農地との調和をどのように考えているか。
答 農業者を守る。迷惑企業は誘致しない。
問 JAS有機農業者との両立は可能か。
答 基本的に工場排水は、現状の水路に出さないのが可能と考える。
問 村民の雇用対策は。
答 進出企業に要望する。
問 工業団地はどの行政区に属すのか。
答 東部区である。
問 景観について企業に要求するものはあるか。
答 景観の保全を強く要望する。「村づくり条例」の中の土地利用調整基本



大和田神社の秋祭りで継承される伝統の獅子舞

計画に基づき指導する。
問 工業団地内の農地の換地は進んでいるのか。
答 代替農地希望の方には、対応している。
問 森重工業団地造成での反省からの改善策は。
答 森重団地は、細かい区画割で販売。そのため増改築や駐車場対応ができない点があった。今回この区画割は、オーダメイド方式で余裕がある。
**子ども達と
松川村伝統文化の継承**
問 村内各地の祭典など

で、伝統文化の継承が難しくなっていることをどう認識しているか。
答 同感であり、これは社会構造の変化に伴うものと判断している。それにあわせ若者の減少も影響していると思う。
問 具体的に、子どもたちには伝統文化をどのように継承していくか。半ば強制的に学校のカリキュラムに組めないか。
答 週休2日制になり、休日は地域で子どもを育てる方針。その中で取組んでいくべきだと思う。



村独自の環境基準が望まれる（上緑町工業団地）

基に誘致しているか。
答 国の環境基本法（大気・騒音・土壌・水質・ダイオキシンなどの基準）県条例にも準じて話をしていく。
問 最近、騒音・臭気問題が大きく取り上げられ、法や条例をクリアしても問題が出る。村独自の基準を設けるべきと思うが。
答 十二分に検討する。
問 村長は工場誘致決定で、自主財源や雇用の確保に大きく前進したと言っているが、有形無形の経済効果をどう算定しているか。
答 単純計算では、10年位で出と入りが均衡する。
問 この2年間、分館對抗の行事が、中学校やPAの行事とバッティングしている。選手選考ができず棄権の区もある。日程の調整はできないか。
答 公民館も苦慮しているが、今後はないよう調整する。
問 村民運動会の種目もマンネリ化しているのでは変更しないか。
答 関係の方々と十分に検討する。

公民館の行事について

雇用者が村で買い物をするなど村が潤うと考える。

農業振興に率先して旗振りを

営農支援センター長としてしっかりとやる

新村 久仁男議員

行政評価制度

問 村民ニーズによる行政サービスで、15年度に行政改革推進本部が内容を検討、点検表の項目毎に内部評価中と聞かれています。

答 評価は県・市が先行し、町村は約半数が検討中。村は事務分担の見直しに取組み大課制とした。

今後は制度化する。

ニートと少子化対策

問 働く意欲のない若者のニートが全国で52万人もいる。日本の活力を削ぐ要因だが、このことについての考えは。

答 国をあげての対策を働きかける。

問 これらの若者を教育し支援する対策を国は来年度から始めるが、村はニートを把握しているか。また相談窓口は。

答 把握していない。相談窓口は設ける。

問 深刻化が予測されるが、将来を担う子どもたちへの教育で小中学校に何を期待するか。

答 苦しさには負けない強い心を育み、勤労・福祉体験などの取り組みからの指導。

問 今後の対応は。

答 村からは出さないよう頑張りたい。

問 これからは、人口減少化が進むとされ、将来が危ぶまれる。松川村次世代育成支援対策行動計画など子どもを育てる施策を推進しているが、将来の村人口の推移予測はしているか。

答 村人口は増え続けているが10月1日の国勢調査が心配。横ばいと予測し、人口増加施策も今後必要と思う。

問 生産所得不安定で、後継者不足・高齢化・農地の荒廃・農業離れの現状への対策は。

答 営農支援センターを中心に振興に取組む。

問 支援センター長として、率先して旗振りをしたいが。

答 支援センター長としてしっかりとやらせてもらう。

農業振興

問 評価シートの公表は。

答 できるものから手をつけ、



農政懇談会に臨む産業建設常任委員会

7月19日 初めての子ども議会開催

松川小学校6年生113人が
質問や要望をしました

小学生の「子ども議会」が初めて開催され、緊張した表情で、今までの調査結果を图示して真剣に質問しました。

子どもらしい「なぜ？」からテーマを決め、十分に準備して、目を輝かせて臨んでいました。

行政答弁も真剣で、対応を約束しているものも多く、実りのある議会でした。

〔内容の要旨〕

- ・ 村内の公園について、遊具が壊れていて危険。点検をしてほしい。
- ・ 公衆トイレや水道が使えないところもある。
- ・ 村内はゴミが落ちていたり草が多いので、みんなできれいにしよう呼びかけたい。
- ・ 信号機のわき道からの利用時間がとても短い。

これらを写真やグラフを提示しながら質問しました。



6年生全員が議場に入り、活発に開かれた「子ども議会」

一部事務組合報告

平成17年8月25日 8月定例会報告

(金額は千円で四捨五入)

議案は9件で、内4件が平成16年度決算。北アルプス広域連合会計・北アルプス広域連合ふるさと市町村圏事業特別会計・北アルプス広域連合介護老人保健施設事業特別会計・北アルプス広域連合介護保険事業特別会計を2常任委員会に付託して審査し議決・承認しました。

他の議案は、火災予防条例の一部改正と17年度の各会計補正予算で全議案可決されました。

また、広域連合長あいさつで「(仮称)夜間急患センターを市立大町総合病院と厚生連安曇総合病院の協力により来年4月1日から開始に向け協議を進めていく」との報告がありました。

平成17年9月26日 9月臨時会

議案は3件で、「北アルプス広域連合介護老人保健施設設置及び管理に関する条例」が次のように一部改正されました。

入所及び短期入所利用者の個室利用料1人1日1,200円を1,600円に、新設で、多床室1人1日320円。食費1日当り760円を1,600円、1食当り350円を600円。

平成16年度 各会計決算書

単位：万円

合 計	歳入合計	歳出合計	翌年度繰越
北アルプス広域連合会計	12億3,131	12億1,165	1,966
ふるさと市町村圏特別会計	1億1,988	1億1,942	46
介護老人保健施設特別会計 (虹の家)	3億7,127	3億2,830	4,297
介護保険事業特別会計	40億5,150	39億6,646	8,505

平成16年度市町村負担金は全体で10億72万円で、内松川村1億2,802万円でした。

北アルプス広域連合

池田町・明科町・松川村 葬祭センター施設組合

10月1日からは2町村で運営

平成17年8月29日 第2回定例会報告

平成16年度一般会計決算を、全会一致で可決

歳入総額 1,323万円・歳出総額 1,129万円

残額は193万円で次年度へ繰越。利用は全体で298体となり、昨年より31体増えました。

平成17年度一般会計補正予算は、歳入歳出358万円追加。

歳入は9月30日をもって脱退する明科町が支払う負担金225万円と16年度繰越金など。

歳出はその負担金の基金積立金・椅子購入費28万円・火葬場費消耗修繕費50万円など。

明科町長から池田町の施設組合長に9月30日での脱退届出書と、借入金の返済方法(土地は池田町所有、借入金は全体で約791万円、明科町分225万円を前納)・財産処理などを覚書で確認し、各組織町村で議決しました。

これからは、池田町と松川村で運営し、費用分担は人口割りで、議会議員数は池田町4名・松川村3名となります。

穂高広域施設組合

10月1日からは1市1町2村で運営

平成17年7月6日第1回臨時会報告

専決による一般会計補正予算は、374万円を減じ、総額20億3,905万円とするもの。

ごみ焼却施設機械修繕工事請負契約については、^{えぼら}荏原エンジニアリングサービス株式会社と、1億5,750万円で契約するもので、主な工事内容は焼却炉の修繕3基・集じん装置交換3基など。

議会選出監査委員に、池田町の田中惟人議員を選出。

全員協議会では、安曇野市の合併に伴う条例改正案で、組織町村の変更と議員定数を20名から11名に減ずるもので、議決は各町村で行います。各町村の経費負担金の負担割合などは、18年4月より筑北村・麻績村の加入に伴う改正時に検討するとの説明でした。

バイオマスエネルギー実験事業について、産業技術総合開発機構(NEDO)の公募事業に申請をします。

バイオガス発生装置から、新エネルギーの開発導入及び熱源からの電力などを調査するものです。NEDOの補助100%で10~15億円の予定です。



松川神社の由来碑の除幕(9月10日)

松川神社戦後60年記念事業 松川神社の秋季大祭にあわせ、戦没者追悼式と戦後60年の節目の事業として、境内に松川神社由来の碑を作成した除幕と、本殿への高塀改築の式典を開催しました。昨年県道沿いに社号標を建立し、神社由来の碑には「二度と悲惨な戦争を起こしてはならない」と加え平和への誓いを新たに、一連の事業を完了しました。

松川神社
戦後60年
由来の碑を
除幕

あれはどうなっているだい!?

村民の方から寄せられた疑問などにお答えします



大盛況の昨年度収穫祭

カラスやムクドリが増えて、
いたずらはするし、
うるさいし 汚いし
どうしりゃいいだいね？

答 このところ特に
多くなりましたね。農
作物被害も発生し、ま
た、不衛生でもあり、
檻などで捕獲もしてい
ますが、あまり効果は
ありません。
生態を調査し、対策
を考えます。
村でもとても困って
いますので、皆さんも
よいお知恵がありまし
たら、ぜひお寄せくだ
さい。
(担当は
村経済課・環境福祉課
☎62 3111)



200羽以上の大集団が電線で休けい中（緑町区）

秋の「収穫祭」は、
今年もやるだけかい？

答 「安曇野まつかわ秋
祭り2005」として、
収穫祭を10月30日(日)に、
役場西駐車場で実施しま
す。
生産者や消費者の交流
を大事にし、新米の販売
もあります。

村自慢の農産物や農
産加工食品など、松川
ならではの楽しみな企
画です。安曇節80周
年の講話や文化祭・芸
能発表も合わせて盛大
に予定しています。ぜ
ひお出かけください。

編集 後記



「信濃松川駅に特急を
停車させたい」との悲願
が12月のダイヤ改正で実
現します。

信濃松川駅停車時刻は
午前7時22分、特急あず
さ6号(新宿行き)です。
住民も旅行者も最適な時
間帯で利用増が期待でき
ます。

先人の方々の「国営ア
ルプスあづみの公園の利
用は、ぜひ信濃松川駅を
基点に」との活動を引き
継ぎ、3年前に結成した
「愛する会」を中心に住
民と行政との強力な活動
が展開された成果です。
これは村と地域の活性
化に大きく期待できます。
みなさんも大いに利用
しましょう。

松川村議会報編集特別委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 白澤富貴子 |
| 副委員長 | 矢口弦八郎 |
| 委員 | 平林源起 |
| 森平蔵 | |
| 新村久仁男 | |
| 百瀬清 | |
| 榛葉良子 | |
| 平林寛也 | |